

**JOYFUL  
HONDA**

# 決算補足資料

2022年6月期 第3四半期

株式会社ジョイフル本田（証券コード3191）

2022年5月6日

# 22/6期 3Q決算のポイント

## 1 3Q累計の過去最高益(営業利益以下すべての利益レベル)

- ・ 営業利益は3期連続最高益更新
- ・ 売上高伸長への再挑戦、新フォーマットでの出店(4月20日開業)

\* 新店については4月20日付けのプレスリリースをご参照

## 2 株主還元と資本効率向上施策の実行

- ・ 自己株式は発行済株式総数の5%を目安に残し今期中の消却を予定
- ・ 中期経営計画で新たにROEの目標値を公表

\* 本日公表の中期経営計画、適時開示資料をご参照

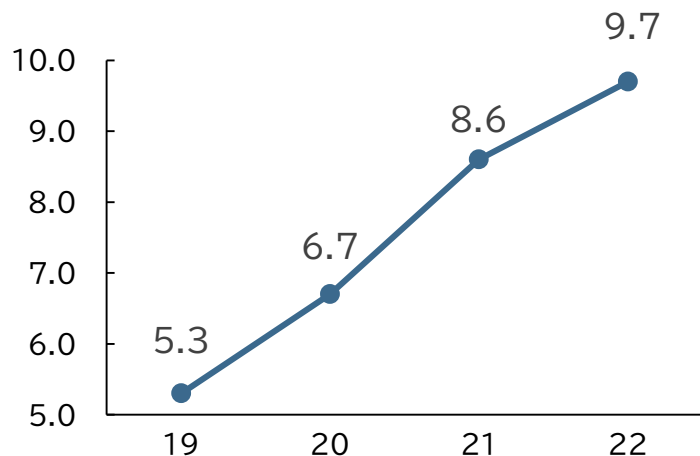
### <当資料の前提>

- ・ 22/6期の決算業績対象範囲を基本とし、実質比較のため、それ以前も同じ業績対象範囲で算出した数値で記載
- ・ 22/6期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用、実質比較のため、それ以前も同じ基準で算出した数値で記載
- ・ 上記により、過年度の数値は決算短信に記載の数値とは一部異なる

# 営業利益の時系列推移 (3Q累計、4期分)

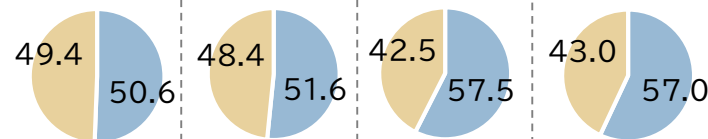
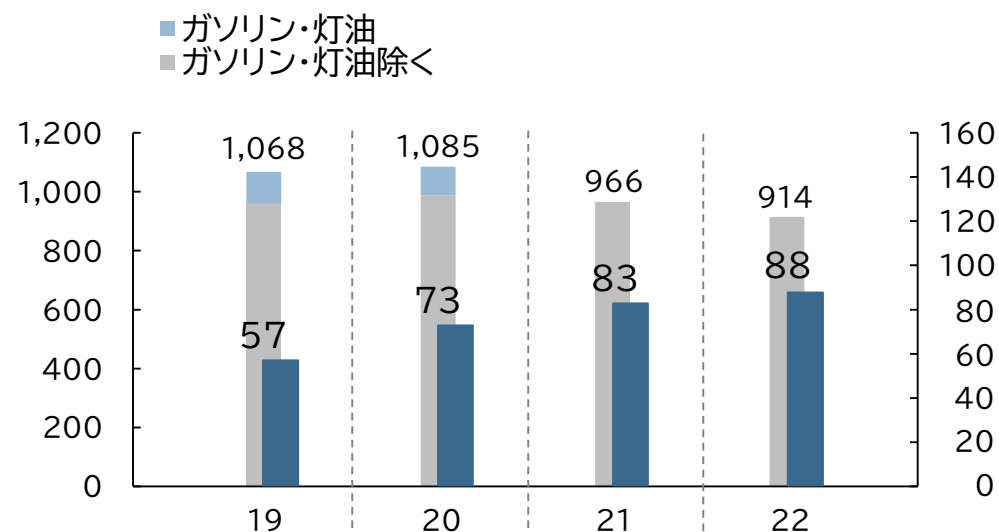
▶ 原材料高・光熱費高騰も営業利益は率・高ともに連続伸長

営業利益率 (%)



売上高 (億円)

■ 営業利益 (億円)



売上高構成比 (%)

■ 生活 ■ 住まい

注: 億円は、千万円単位を四捨五入  
小数点以下第2位四捨五入、以下の頁も同じ

# 損益計算書

- ▶ 売上・粗利の通期予想進捗率は約70%
- ▶ 営業利益は74.9%まで進捗

実質比較	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期	通期予想		19/6期比		20/6期比		21/6期比	
					金額	進捗率 %	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	106,768 (100.0)	108,540 (100.0)	96,581 (100.0)	91,400 (100.0)	131,000	69.8	△15,367	85.6	△17,140	84.2	△5,181	94.6
売上総利益	28,890 (27.1)	29,983 (27.6)	30,165 (31.2)	29,036 (31.8)	41,900	69.3	+145	100.5	△947	96.8	△1,129	96.3
営業収入	4,016 (3.8)	4,025 (3.7)	4,043 (4.2)	4,088 (4.5)	5,400	75.7	+72	101.8	+63	101.6	+45	101.1
営業総利益	32,907 (30.8)	34,009 (31.3)	34,209 (35.4)	33,125 (36.2)	47,300	70.0	+218	100.7	△883	97.4	△1,084	96.8
販管費	27,232 (25.5)	26,689 (24.6)	25,887 (26.8)	24,288 (26.6)	35,500	68.4	△2,944	89.2	△2,401	91.0	△1,599	93.8
営業利益	5,674 (5.3)	7,319 (6.7)	8,321 (8.6)	8,836 (9.7)	11,800	74.9	+3,162	155.7	+1,517	120.7	+515	106.2
経常利益	6,611 (6.2)	8,188 (7.5)	9,307 (9.6)	9,528 (10.4)	12,900	73.9	+2,917	144.1	+1,339	116.4	+221	102.4
純利益	2,636 (2.5)	△584* (-)	6,309 (6.5)	6,562 (7.2)	9,000	72.9	+3,925	248.9	+7,146	-	+252	104.0
売上高 (G・灯油除く)	96,030	98,721	96,581	91,400	131,000	69.8	△4,629	95.2	△7,320	92.6	△5,181	94.6

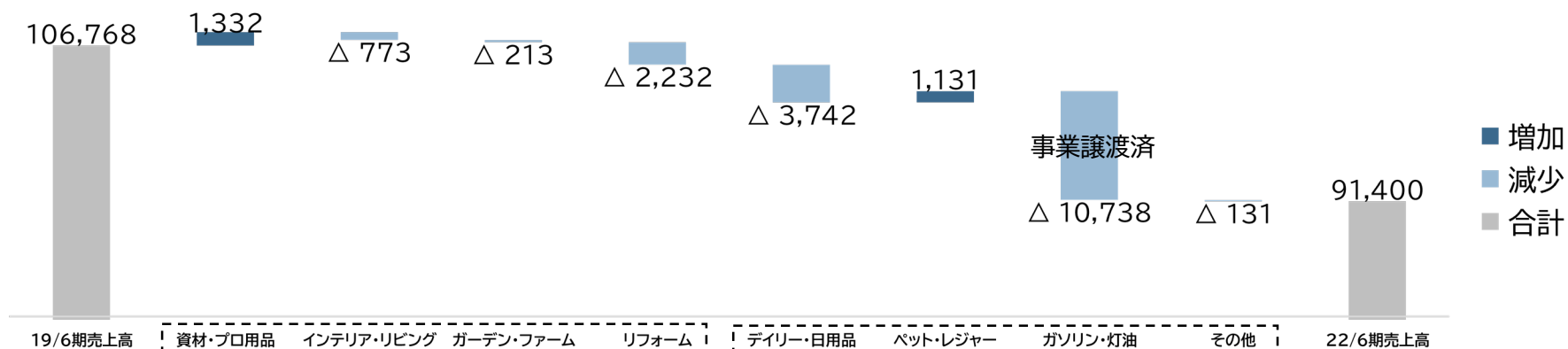
注：単位は百万円、%、( )内は売上高比率、百万円未満切り捨て、以下の頁も同じ

\* 東京都稲城市の出店取り止めに伴う特別損失の計上等

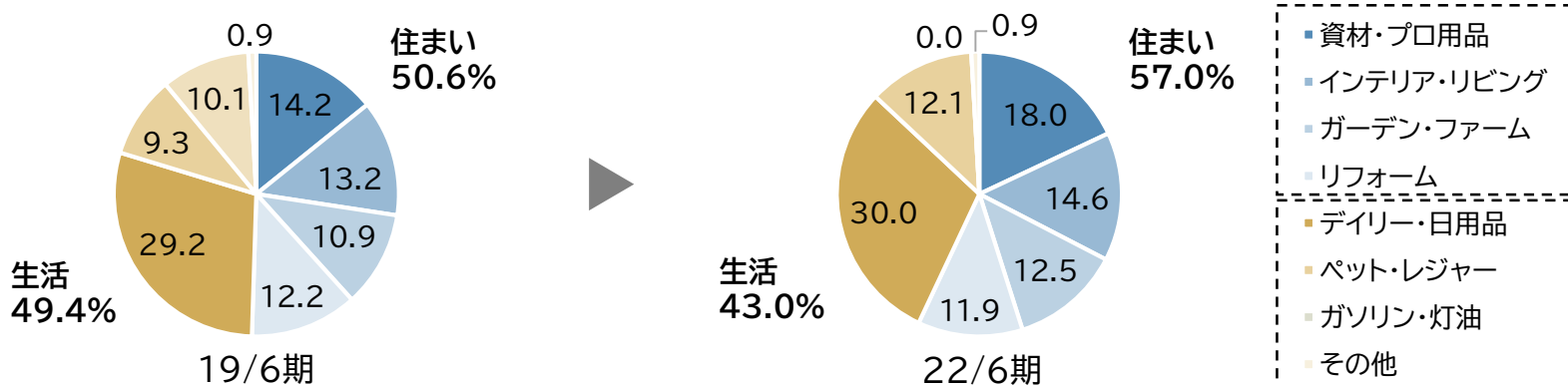
# 商品グループ別売上高および構成比

- ▶ 資材・プロ用品は先行仕入調達で商品(量・質)を安定供給
- ▶ ハイ&ローからEDLPへの戦略転換でデイリー・日用品は減少

売上高の増減(特殊要因のない19/6期対比)



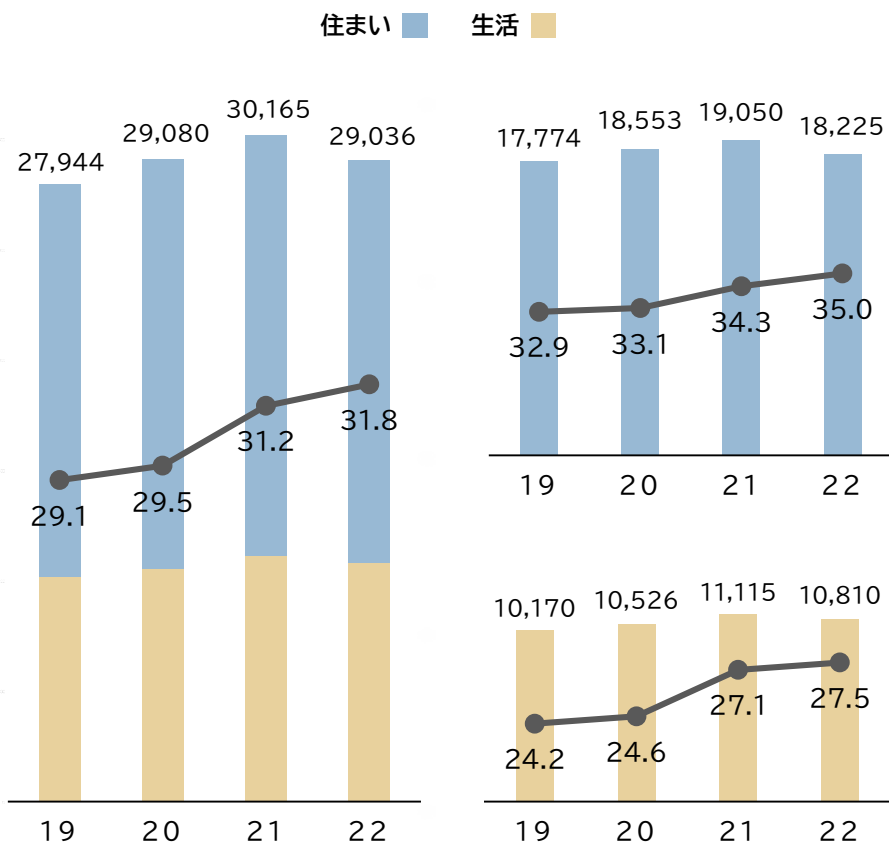
売上高構成比の増減(特殊要因のない19/6期対比)



# 売上総利益および販管費

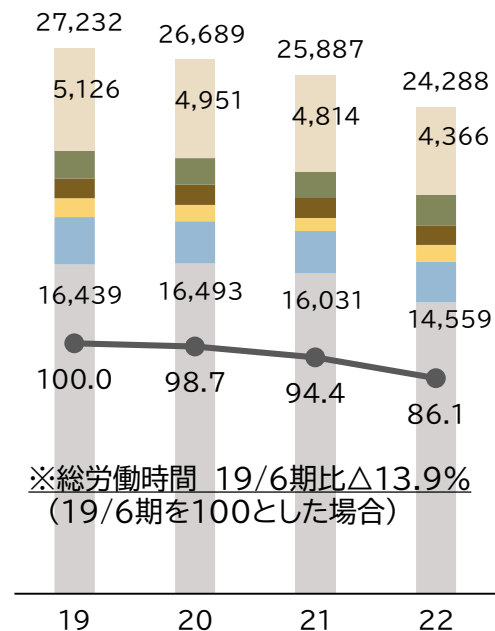
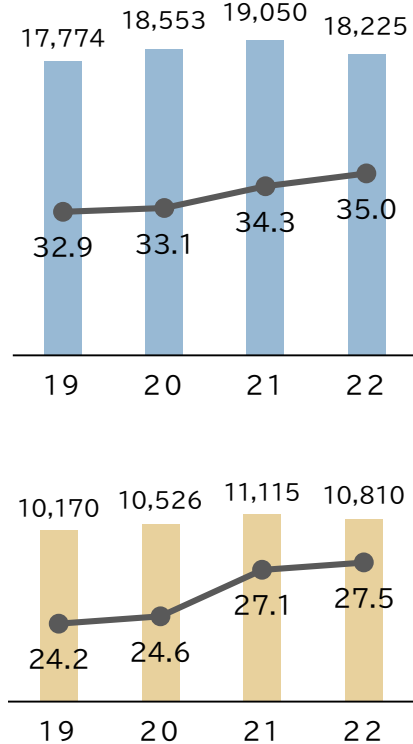
- ▶ 「生活提案」と「必要必在」による売場展開で粗利率上昇
- ▶ 売場融合によるマルチタスク化で適正人員を再配置

## 売上総利益(ガソリン・灯油除く)



## 販管費と総労働時間の推移

- 人件費 (Grey)
- 水道光熱費 (Yellow)
- 賃借料 (Green)
- 総労働時間 (単位:千時間) (Black line with dots)
- 減価償却費 (Blue)
- 公租公課 (Brown)
- その他(広告宣伝費含む) (Light Brown)



※総労働時間 19/6期比△13.9%  
(19/6期を100とした場合)

# 設備投資および減価償却費、キャッシュフロー

## 1. 設備投資および減価償却費

	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期	コメント	22/6期予想
設備投資	2,380	1,485	1,167	5,518	・ 新店投資 (吉岡店開発工事、小山駅前店修繕等) ・ IT投資 (リフォーム新工事台帳システム等)	5,693
減価償却費	2,357	2,107	2,076	2,015	・ 減価償却費は漸減	2,915

## 2. キャッシュフロー

	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期	主な内訳
営業活動によるCF	9,126	9,210	6,844	3,940	・ 税引前四半期純利益 +9,489 ・ 法人税等の支払 $\Delta 4,255$ ・ 未払金の減少 (賞与支払時期見直し) $\Delta 2,204$
投資活動によるCF	$\Delta 5,701$	3,664	2,428	$\Delta 1,919$	・ 有形・無形固定資産の取得支出 $\Delta 1,599$
財務活動によるCF	4,982	$\Delta 5,867$	$\Delta 5,727$	$\Delta 11,099$	・ 自己株式の取得支出 $\Delta 5,084$ ・ 長期借入金の返済支出 $\Delta 3,297$ ・ 配当金の支払 $\Delta 2,644$
現金及び現金同等物の増減額	8,407	7,007	3,545	$\Delta 9,078$	・ 上記CFの合計
現金及び現金同等物の四半期期末残高	24,170	34,104	41,420	36,417	

# 貸借対照表

		21/6期 3Q末 A	21/6期 期末 B	22/6期 3Q末 C	前年 同期末比 C-A	前期末比 C-B	コメント (対前期末比)
資産の部	流動資産	60,987	64,993	57,581	△3,405	△7,412	・ 現金及び預金が減少 (自己株式の取得等)
	現金及び預金	41,458	45,533	36,455	△5,002	△9,078	
	売掛金 *1	3,092	3,268	3,421	+329	+153	・ 商品が増加 (商品の先行仕入調達等)
	商品 *2	15,349	14,352	16,332	+983	+1,980	
	固定資産	95,438	95,612	98,524	+3,086	+2,912	・ 固定資産が増加 (新店投資等)
	資産合計	156,425	160,606	156,106	△319	△4,500	
負債・純資産の部	流動負債	19,543	22,284	22,170	+2,627	△114	・ 固定負債が減少 (長期借入金の約定返済等)
	買掛金	7,379	6,925	7,231	△148	+305	
	短期借入金	0	0	0	0	0	
	1年内返済予定の長期借入金	4,397	4,401	4,401	+4	0	
	固定負債	26,751	25,636	22,495	△4,255	△3,140	
	長期借入金	17,443	16,339	13,041	△4,401	△3,297	
	負債合計	46,294	47,921	44,666	△1,628	△3,254	
	株主資本合計	108,872	111,554	110,519	+1,646	△1,035	
純資産合計	110,130	112,684	111,439	+1,308	△1,245		
負債・純資産合計	156,425	160,606	156,106	△319	△4,500		

\* 1: 22/6期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用、売掛金には契約資産を含む

\* 2: 商品には、仕掛品、未成工事支出金、未着品、原材料及び貯蔵品を含む



# 新フォーマット “ジョイホン小山駅前店” オープン



2022年4月20日

各位

会社名 株式会社ジョイフル本田  
代表者名 代表取締役社長CEO  
細谷 武俊  
(コード番号3191 東証プライム市場)  
問合せ先 執行役員  
管理本部長兼経営管理部部長  
大内 健司  
(電話番号 029-822-2215)

## 「ジョイホン小山駅前店」4月20日(水) グランドオープン！ ～新ストアブランド「ジョイホン」の1号店、新フォーマットで誕生～

株式会社ジョイフル本田(本社：茨城県土浦市、代表取締役社長CEO 細谷武俊、以下ジョイフル本田)は、このたび「ジョイホン小山駅前店」(所在地：栃木県小山市)を、2022年4月20日(水)にグランドオープンいたしました。

同店舗は当社初(単独専門店を除く)の居抜き物件を用いた店舗で、また当社初の駅前立地での出店となります。



### ◆「ジョイホン小山駅前店」のコンセプトについて

ジョイフル本田は『必要必在』と『生活提案』で地域社会の喜びと夢を共創する」を企業ミッションとして掲げ、出店させていただいた地域に根ざした店づくりを進めております。具体的には、「Lifelines」「Handicrafts」「Ways of Life」をブランドコンセプトとし、生活提案にあふれた売場づくりでお客様に楽しさ、発見や驚きのご提供を目指しております。「ジョイホン小山駅前店」はブランドコンセプトをベースにした新たなスタイルの店舗としてオープンいたしました。



## ▶ 店舗の概要

- ・ 店舗名: ジョイホン小山駅前店 (栃木県小山市)
- ・ オープン日: 2022年4月20日
- ・ 売場面積: 約3,600坪

## ▶ ジョイホン小山駅前店の特徴

- ・ 当社初の居抜き物件を用いた店舗 (単独専門店除く)
- ・ 当社初の駅前立地、日常使い
- ・ 魅力ある5つのゾーンを展開 (ガーデン・グリーン、ペット、アウトドア、ハンディクラフト、ディズニー)
- ・ サステナブル商品の展開を強化

## ▶ 今後の展開

- ・ 居抜き物件を活用した出店の拡大
- ・ 出店地域と共創できる業態を開発
- ・ 既存店とのコラボレーション、地域ドミナント化

# 【参考】商品グループ別売上高および構成比の推移

実質比較	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期	19/6期比		20/6期比		21/6期比	
					金額	%	金額	%	金額	%
住まい	53,978 (50.6)	55,994 (51.6)	55,501 (57.5)	52,091 (57.0)	△1,887	96.5	△3,903	93.0	△3,410	93.9
資材・プロ用品	15,134 (14.2)	16,530 (15.2)	16,826 (17.4)	16,466 (18.0)	+1,332	108.8	△63	99.6	△359	97.9
インテリア・リビング	14,116 (13.2)	14,159 (13.0)	14,037 (14.5)	13,342 (14.6)	△773	94.5	△816	94.2	△694	95.1
ガーデン・ファーム	11,658 (10.9)	12,056 (11.1)	12,810 (13.3)	11,444 (12.5)	△213	98.2	△611	94.9	△1,365	89.3
リフォーム	13,068 (12.2)	13,247 (12.2)	11,827 (12.2)	10,836 (11.9)	△2,232	82.9	△2,411	81.8	△991	91.6
生活	52,789 (49.4)	52,546 (48.4)	41,079 (42.5)	39,309 (43.0)	△13,480	74.5	△13,237	74.8	△1,770	95.7
デイリー・日用品	31,147 (29.2)	31,523 (29.0)	29,113 (30.1)	27,405 (30.0)	△3,742	88.0	△4,118	86.9	△1,707	94.1
ペット・レジャー	9,965 (9.3)	10,440 (9.6)	11,148 (11.5)	11,096 (12.1)	+1,131	111.4	+656	106.3	△51	99.5
ガソリン・灯油	10,738 (10.1)	9,819 (9.0)	0 (-)	0 (-)	△10,738	-	△9,819	-	±0	-
その他	938 (0.9)	763 (0.7)	818 (0.8)	807 (0.9)	△131	86.0	+44	105.8	△11	98.6
合計	106,768	108,540	96,581	91,400	△15,367	85.6	△17,140	84.2	△5,181	94.6

## 将来の見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料は、2022年5月6日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果がある点を確認された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましては、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。